国際医療リスクマネージメント学会

チーム医療安全(基礎)研修会・2015夏季

--- TeamSTEPPS の基本を中心として ---

主催者の挨拶

今日の医療現場は、患者を中心として医師、看護師、薬剤師、臨床工学士など多職種・チーム医療が展開されています。さらに、ある患者さんに対して特定の診療科だけではなく複数の専門診療科の協働作業を必要とすることが多々あります。チーム医療では様々な情報が介在しています。そのため、患者の個人情報、投薬される医薬品、他の医療職で実施される医療行為など、リスク情報をチーム医療で共有することが、臨床安全には不可欠です。医療事故の多くの原因には、院内における適切なチーム活動の欠陥が原因になっています。さらに、多職種の職員たちが安全な医療を円滑に実施できるためには、医療安全管理者の適切なリーダーシップも不可欠です。

以上の経緯から、今年度から「チーム医療安全」資格制度を実施します。この資格の目的は、チーム医療に対する高度な医療安全管理者を育成し、臨床現場でしばしば困難なチーム医療上の諸問題を解決するリーダーとして、安全で信頼される医療を推進することです。

本研修会はチーム医療安全の基本コースであり、受講者は後日の2連続日にわたり開催される「チーム医療安全(上級コース)」研修会の受講資格が得られます。

なお、医療安全文化の向上には、より高度な知識と機能を有する高度医療安全管理者が不可欠です。そこで、本年度から日本医療安全学会の協力の下、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度が開始されます。本プログラムはこの認定資格取得における必須科目でもあります。

本修会により、あなたの医療機関におけるチーム医療での安全文化が構築でき、患者・家族により納得される医療を構築します。

2015年5月
酒井 亮二 (国際医療リスクマネージメント学会理事長、日本医療安全学会理事長)
主催者一同